

新潟焼山の火山活動解説資料（平成 21 年 2 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

新潟県土木部砂防課の焼山温泉監視カメラでは、山頂部東側斜面の弱い噴気が時々確認される程度で、噴気の状態に特段の変化はありませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2）

新潟焼山付近を震源とする地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。



図 1 新潟焼山 北側から見た山頂部の状況（2 月 15 日、焼山温泉監視カメラによる）
黒円内は従来から見られている山頂部東側斜面の弱い噴気です。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 21 年 3 月分）は平成 21 年 4 月 7 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、新潟県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用したものです（承認番号：平 20 業使、第 385 号）。

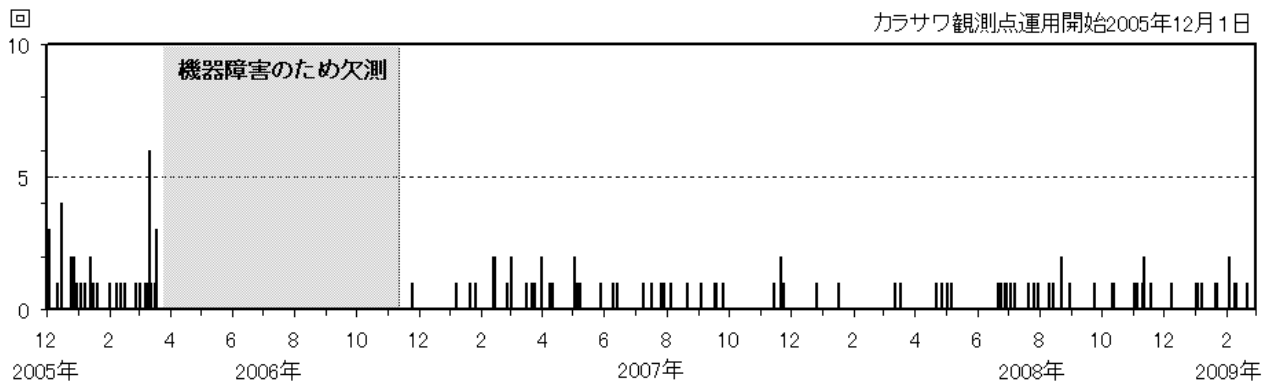


図2 新潟焼山 日別地震回数（2005年12月1日～2009年2月28日）

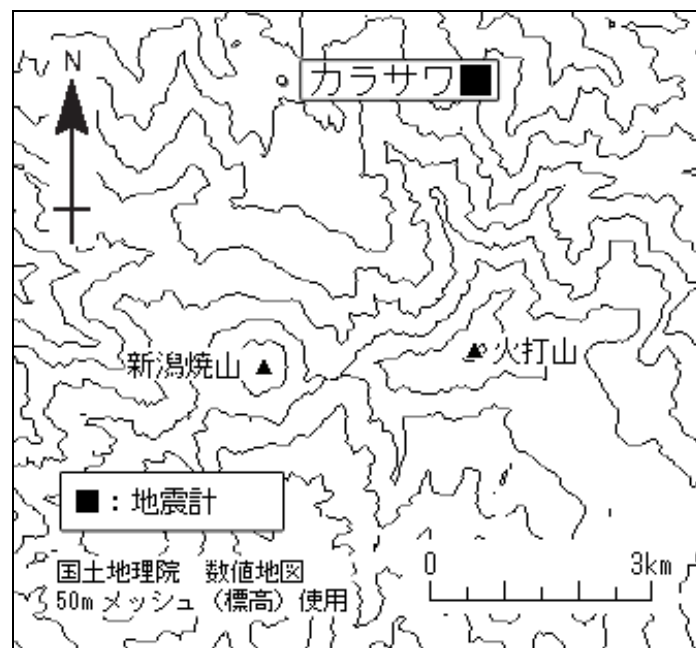


図3 新潟焼山 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）